



一書



十五人奇公

判者教本卷



一着

友

ふらつき

中へ小あはれとてしるもあはれ

いりこゝあはれと君とをよめあはれ

石

輝

ふらつきとてあはれとてあはれ

ふらつきとてあはれとてあはれ

たのむい何とてあはれとてあはれ
あはれとてあはれとてあはれ
あはれとてあはれとてあはれ
あはれとてあはれとてあはれ
あはれとてあはれとてあはれ
あはれとてあはれとてあはれ
あはれとてあはれとてあはれ
あはれとてあはれとてあはれ
あはれとてあはれとてあはれ
あはれとてあはれとてあはれ

二重

あやめり

あやめり

ほろもをさだ

あやめり

あやめり

あやめり

あやめり

衣

あやめり

あやめり

あやめり

あやめり



たの作を名付居して其年
を遊ぶとして作らざりしと
傳へた人もとありいもく
あつたはあつたといふ
川とらち帯とありも余り
まよやとあれどもあつた
してゆれその人よあつた
あつたかすくはあつた

むらん

ひめり せいび

うんしん ねんもく

つれづれ せいび

つれづれ せいび

石 蝶

ありけり せいび



あつたかすくはあつた

たの作はこれのせいびなり
ゆんしんもあつたといふ
白年といふなりといふ
右のありけりといふ
いふなりといふ
これとあつたかすくはあつた
いふなりといふ
ゆんしんもあつたといふ
あつたかすくはあつた

六書

た せいび

せいび

つれづれに

六毒

た

きんじ

ついにきんじ

じくのみん

かきこり

しんじ

かきこり



た

かきこり

穀ふとこおとそ

あや

くわん

さひく

た

あや



右はか下のらつてはあられ

つれづれに

つれづれに

つれづれに

つれづれに

つれづれに

つれづれに

つれづれに

つれづれに

七

あや

あや

あや

あや

あや



たの他ち事々のあつたれらぬ
をいんそちつとまれ神神あし
たすもこの合りやよはるたれ
よりかあひならぬしうもり金
まにこれとてこころはくやし
ちり事しくやくうんたの帳
成事られ宜ちとしくされる
有くこころもはれん人の
んとらひあわれあつれゆくと
われぬ他るに井のそのとあぬ
こすこころしくおれり判た
ゆかりのこころんをいはれ
こころにれはせはるよりい
われはこころに根とゆれをがら
あ金の判たあつとこころ
こころはあん事一はるおはる
ゆかりとあつとこころは
あつとよ及あ法とつたりはる
たハゆかりといはるあつ
をゆらぬあつと持たしはる

十二しん

福吉利 のこ

十の吉一ハ

ゆかり

あつとゆかり

あつとゆかり

あつとゆかり

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

心
しるす
身れあはれし哉

心す利を争ふは心わたりとて
たの他をあらとてとてあひ入る
心相とて心たの他をいささか
悔ふも心そのあはれはれい
ゆんたのいささかとて心
いとゆれよのつひ心
佛心いささか心そのあはれ
いと心あはれとて心
にゆれいと心あはれ

十二字

た

ま

はまはれ君を

しるす

まま

小くはれ

しるす



た

ま

まのい

周

ま

人をこつ

たの他をたの他とて心
まま心まま心まま心
いと心まま心まま心
はれあはれいと心
たの他をあらとて心
まま心まま心まま心
あはれいと心まま心
まま心まま心まま心
かま心まま心まま心

十中

ちりちりちりちりひんちりちりちり
あししくもゆりこれと名にかく
うらとれしちりちりちりちり
からまいたち物さゆらん

十中せん

ちりちりちり

君来んね

ちりちりちり



蜘蛛

ちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

みま

珠

形をこねく
かたけ

ちりちりちり



珠をこねく
身ちりちりちり

たのまの戯指のちりちりちり
あしたのちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

十七書

ち

ちりちりちり

ありちりちり

ちりちりちり



ちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

ち

ちりちりちり

ちりちりちり
ちりちりちり



たか ちんたか

法流形

今七



かひあぬ

みだり

海

たの法流形... かくに海... 乃古入... 集... 身... 法... 神... 以... 中... 幸... 念... 今... 判... 法...

春心正欲
後以
春心正欲
後以

跋

秋夜群虫庭中裏
蓋簪對月詠倭歌
寓言絕妙風騷容
物我相忘曾自哉

譜入虫十五番歌合

3472